

令和2年度境港市総合戦略推進会議 書面開催に関わる意見聴取結果について

24名の委員のうち、13名の委員から回答をいただきました（受付順に掲載しております）。
「特になし」「意見なし」は掲載を省略しております。

1. 第1期境港市総合戦略の取組実績について

番号	ご意見
1	<p>コロナ禍後の諸問題が今までと違い、何等かの方針転換を考えざるを得ない状況と思う。特に諸団体の長や組織的な観点で委員を選出されているが、今後は専門知識や知見を持った人物本意で選出されることを望む。その上で、今までのような、意見がほとんど発せられない会議は無意味であり、各委員の意見が出やすい運営方法を検討すべきと思う。</p>
2	<p>期途中からの参加のこともあり、理解度が不十分ではありますが、総論的にはよろしいのではないかと考えております。</p>
3	<p><資料2>基本目標の進捗 「3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり」は3つのKPIをいずれも達成しており、評価できる。子育て環境づくりについては、出生率向上に向けて未婚、晩婚化対策や男女の出会いの場の創出などが求められる。圏域人口については観光人口、交流人口の拡大を含め、一層の広域的な連携に期待したい。</p> <p><資料3>施策の取組状況及びKPIの達成状況 ・新商品開発支援の件数が少ないのは残念。水産資源に付加価値をつけて販売する取り組みを支援してほしい。 ・企業誘致に量販店の名前があるが、境港市は明らかにオーバーストア状態。出店は市場原理にまかせるべきだが、誘致企業にカウントするのは果たして…。 ・圏域での婚活支援をさらに推進してほしい。</p> <p><資料4>令和元年度具体的施策 ・令和元年度は新型コロナウイルス感染症の流行前で、各事業とも一定の成果を収められたのではないかと。</p> <p><資料5>国交付金を活用した令和元年度実施事業の効果検証 ・新型コロナウイルス感染症の流行前で各事業とも一定の成果を収めたが、第2期は抜本的な見直しが必要。</p>
4	<p>第1期総合戦略のメインテーマとも言える、3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくりは後半になり難条件が重なる中で、達成率は順調に推移した。 貨客船ターミナルをはじめとする3つの港のハード面での整備は今後に期待の持てる事業の完成であった。</p>
5	<p>全国のほぼすべての自治体でU・Iターンの促進を図っている中、境港市人口が7年ぶりに社会増に転じたことは、これまで取り組んでこられた「境港市総合戦略」に係る各種取り組みの成果であろうと考えます。</p>

6	外部要因により未達成の部分があるが、概ね達成されている。
7	「伯州綿学習開催」目標を10上回った点を評価します。 郷土の素晴らしさを子どもたちに知ってもらうことは、将来のシビックプライドの醸成に大いに寄与すると信じています。 最近では商品化も進み、ブランド力も向上したと実感しています。 今後は後継者を育成する取り組みも進めていただき、後世に残すべき伝統産業として大切にしていきたいと感じています。素材の優しさを生かし、子育てとタイアップした取り組みが生まれることを期待しています。
8	概ね良好な成果が上がっていると評価できます。特に、保育園待機児童ゼロが維持されていること、児童クラブ受入児童数の拡大を積極的に行っていることなど、子育て支援の取り組みは着実に成果が現れていると感じました。一方、合計特殊出生率は事業当初の1.55%から横ばいの傾向が変わっていない点がやや残念です。境港市だけの問題ではありませんが、第二期総合戦略でも高い目標値が設定されており、境港市ならではの独自の支援策などが提言されることを期待します。
9	第1期の取組はそれぞれ高い評価になろうと思います。ただし、UIターンについてはまだまだ、危機感が薄いのではないのでしょうか。本当に過疎になったしまった地区の切羽詰まった取り組みを参考してほしいです。 観光業、港湾、空港等の運輸交通業については実績として目を見張るものがあると思います。 水産農業については取組が不十分のように思います。

2. 第2期境港市総合戦略についてご意見等ございましたらご記入ください。

番号	ご意見
10	まずプライオリティーを諸事案から選別し、各委員の意見を集約したい。あわせて原案を纏める上で、市役所各部署の横断的な意見を十分協議すると共に、各課がその原案を認識しておく必要がある。 今後の課題として、人口減少及び生産年齢者減少が顕著に表れ、我々が想定した減少より格段に少なくなることを理解すべきであろう。 そうした中、労働生産率を上げるとは、賃金アップ、子育てのための育休（男女）、高校までの教育費の補助等、可処分所得が上がらなければ人口移動に歯止めがかからない。 従い、絵花的な案では「絵に描いた餅」になり、実効性が伴わないことになるかと危惧する。 その上で、第2期総合戦略は時間をかけて、どうすれば境港市が「生き残れるか」という瀬戸際に立たされている事象を具体的に協議する場とすることだろう。 依って、経済合理性から義務的経費を除く、それ以外の事業に関し、相当な覚悟で民間に委ねてたり、緊急性が乏しい事案は概念的事案として後に回すことかと思う。

11	<p>外国人労働者については、第一期においても「外国人労働力の受け入れの検討」——実績なし、第二期において農業・水産業の担い手の育成・確保の中で外国人技能実習生等の「やさしい日本語教室」開催と触れられております。</p> <p>しかしながら改めて考えると、当地にはすでに200名を超える外国人（技能）が在住しております。少子高齢化が進む中、働き手の確保のみならず特定技能者もひろく募っていく状況にあります。彼らが期間の限定はあるにしろ定住し消費活動をするには当地において非常に大きな存在となっています。又、将来においても当地と海外を結ぶ人的な橋渡しとなるものと考えます。</p> <p>日本語学習会等の支援は理解しておりますが、「手助け」的な支援ではなく、本市としてあるべき外国人就業者の受け入れ体制を確立すべきではないでしょうか？市そのものが外国人労働者の受け入れ機関となることは民営圧迫の点からも難しいでしょうが、境港での就業が彼らにとって「働きやすい」「生活しやすい」「良き思い出」となるよう。そして他地域にみられる地元住民との軋轢が生じないよう市として積極的に受け入れるシステムの構築が喫緊の課題とも考えます。</p> <p>市の戦略の重要項目である①産業振興・雇用創出②観光③移住定住のすべてにかかわる問題として、前述したように既に200名を優に超え、なお増えるであろう外国人就業者に対する取り組みの有り様が境港市の将来像に大きく影響してくるものと考えます。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の発生を受け、基本目標は現状通りでいいと思うが、観光振興や中海・宍道湖・大山圏域市長会の取り組みは新たな発想や事業展開が求められる。 ・新しい生活様式に対応して、具体的施策にはDX（デジタルトランスフォーメーション）の活用、推進が急がれる。 ・一方で情報化の推進によるデジタルデバイド（情報格差）も懸念され、情報弱者へのきめ細かい支援が必要。 ・ポストコロナをにらみ、自然、歴史、文化、食など圏域の豊富な観光資源を活用した体験型ツアーやスポーツツーリズム（サイクルツーリズム）のメニューを開発し、地元企業の新たな起業、創業につなげてほしい。 ・着地型観光の促進に向け、体験型観光を品ぞろえして広域的に情報発信に期待したい。 ・3つの港を活用してワーケーションの場を創出し、関係人口の創出や地元産業の育成に役立てたい。
13	<p>ハード面が完成した3つの港へアクセスする交通網の整備が急がれる。</p> <p>国内は基より、インバウンド客を見込んだ空き家対策を推進し、気運が高まりつつある体験型、長期滞在型の設備を充実してソフト面を生かした活性化を図る必要がある。（観光客の取り込み方法を考える）</p> <p>荒廃農地の有効利用ーここまで進んだ荒廃農地の再生は可能だろうか？ 生物多様性を考えた子供たちの環境学習の場となるビオトープ化は不可能だろうか。（規模にもよるが農地の再生よりコストは少ないのでは）</p>
14	<p>今後、「第2期境港市総合戦略」に基づく具体的な施策に基づく各種取り組みを進学や就職で境港市を離れる人、離れた人に届けることにより、その人が境港に帰りたくなる、その人の「家族」が境港に住みたくなる「ふるさと」としてアピールできるのではないのでしょうか。</p> <p>これによる人口の「社会増」が発生し、そこに新しい家族も増える「自然増」につながる、そうすれば地域経済が活性化され新たな産業、雇用も生まれる、働く場所があるのであれば「ふるさと」に帰ろうとなる、という好循環により賑わいのある街であり続けることができると思います。</p>
15	<p>始まって1年余りであり、新型コロナウイルス感染症の影響、外部要因のため、途中での見直しが必要である。</p>

16	<p>■IV 具体的施策 (1) 産業振興・雇用創出 ①国内外への市場拡大及び新商品開発支援件数(2024年度成果目標) ⇒(P8)表中の境港取扱貨物量の【目標】KPI欄に『404万トン』を追記。 あわせて同表下部の※記載内容を修正(又は削除)</p>
17	<p>総合戦略における取り組みをSDGsと関連付けている点は評価できます。 第一期総合戦略の実績の項目でも述べましたが、合計特殊出生率の目標が高く設定されているのに対して、具体的施策において第一期からの発展や、境港市の独自性がわかりにくいと感じました。 圏域人口の目標が、人口減少を前提として設定されているのが残念です。市・県の枠に囚われず中海圏域で振興を図ろうとする試みは高く評価できると考えますので、是非圏域の魅力を発信して人口減少の抑制だけではなく拡大を目指していただきたいと思います。 国際的な観光客誘致については、ポストコロナを見据えた大胆な施策を期待します。</p>
18	<p>コロナ禍での企画作成になったと思いますが、この点が十分に反映されていないように思います。現状としてコロナ禍に限らず、自然災害が大きくなっている中で、どのような計画にするのが、記載されておらず残念です。コロナ禍が過ぎれば元の状態に戻るとは限りません。境港を足腰の強い市にするにはどうすればよいかを盛り込んでほしいです。 観光業はパンデミックや自然災害に大きく影響を受けます。この点を踏まえた計画が必要です。 農業についてはもっと鳥大と連携してはどうでしょうか。日本最大の砂州であるこの地に適し、より安定した収入を得られる農産品を探す。より効率よく伯州綿を栽培するなど、鳥大の知見を活かしてはと思います。 19年前にUターンで帰って者として、以前より外からの流入者に対して接し方を検討したほうが良いと思います。外から来た人が境港をどう見ているのかをよく観察してほしい。</p>
19	<p>新型コロナウイルス感染に配慮しながら、安心して、保育園行事が行え、子どもたちと一生に一度の思い出作りができる環境を整えてあげられたらと思います。</p>

3. そのほか、ご意見がございましたらご記入ください。

番号	ご意見
20	<p><資料1>人口動向で社会動態が7年ぶりに増加したことを歓迎したい。年代別にみると20代と30代が全体の6割を占め、IターンがUターンを上回っている点も評価したい。静岡県、山口県からの転入者が多い理由を知りたい。自然動態では若年女性が減り続けているのが懸念材料。婚姻数の増加、出生率の向上が期待される。</p>
21	<p>外から見た境港を意識し、境港に来て暮らしたいと思う町にしてほしいです。 市役所が中心になって進めていただいた水木しげるロードのリニューアル、境夢みなとターミナルの完成などほかにない、恵まれた資源です。これらをより有機的に結びつけて、仕事の場、生活の場にしていくよう計画を進めてほしいです。</p>